

同志社女子大学
日本語日本文学

第二十七号

目 次

沼名河の底なる玉……………吉野政治(1)
——中川幸廣氏説統紹——

『賦光源氏物語詩』を読む(七)……………本間洋一(11)
——胡蝶・螢・常夏・篝火・野分——

教室の内外(4)……………吉海直人(33)
——『伊勢物語』・『枕草子』・『源氏物語』・『和泉式部日記』・『小右記』——

「夜離れ」「かれがれ」の再検討……………河村裕美(57)
——『源氏物語』を中心に——

源氏の藤壺事件における意識の再検討……………岸ひとみ(73)
——若葉下巻「思ひやりなき」を起点として——

江戸歌舞伎〈物売り〉せりふ正本考……………廣瀬千紗子(87)
——『金之揮』の記事をめぐって——

志賀直哉年譜考(十)……………生井知子(131)
——明治三十九年一月から十二月まで——

彙報・執筆者紹介……………(169)

ハンガリーにおける日本語教育の現状……………吉海直人(1)
カーロイ・オルショヤ